

学部：ビジネス情報学部

学科：スポーツ健康マネジメント学科

役職：教授

氏名：柳澤 修

最終学歴・学位等

筑波大学大学院医学研究科 博士（医学）

所属学会等

日本認知科学会，経営行動科学学会，産業・組織心理学会，日本体育・スポーツ・健康学会，日本ストレングス＆コンディショニング協会（NSCA ジャパン），コ・メディカル形態機能学会，日本ゴルフ学会

主な職歴

国立スポーツ科学センター（研究員）

早稲田大学スポーツ科学学術院（助手・助教）

テキサス大学サンアントニオ校（客員教授）

非常勤講師：法政大学，帝京大学，東洋大学，青山学院大学など

専門・研究領域

運動生理学，スポーツ医学，データサイエンス，社会心理学，認知科学

主な論文・著作

【2026 年度の学術論文：筆頭著者のみ】

「重量挙げ選手における腓腹筋の硬度、リバウンドジャンプパフォーマンスならびに競技パフォーマンスの関連性」，
形態・機能，印刷中

※2026 年度以前の学術論文（筆頭著者のみ）（英文誌：33 本，和文誌：12 本）

【文部科学省科学研究費：研究代表者のみ】

1. 若手研究 B（2004-2005 年度）「ヒト骨格筋を対象としたクーリング効果の基礎的及び応用的検討」
2. 若手研究 B（2007-2009 年度）「高度先端医療技術を用いたクーリングの基礎的検討」
3. 若手研究 B（2010-2012 年度）「運動後のヒト骨格筋に対するクライオセラピーの疲労軽減効果および損傷軽減効果の検証」
4. 基盤 C（2013-2015 年度）「ハムストリングス構成筋の機能的差異の解明：関節角度、収縮様式、収縮速度に着目して」
5. 基盤 C（2016-2019 年度：1 年延長）「野球投手の下肢体力要素、投球動作、および投球パフォーマンスの関連性について」
6. 基盤 C（2020-2024 年度：2 年延長）「筋組織固有の柔軟性に着眼した新たな筋機能及び筋損傷の規定因子の解明」
7. 基盤 C（2026 年度－）「野球投手の肘障害に影響する身体要素，投球動作ならびにパフォーマンスの複合的関連性」